

第五九部

高田藩記録

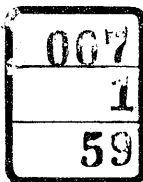
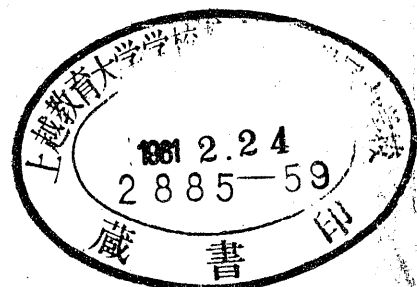
自元治元年

至

八年

月 月

富澤氏藏書

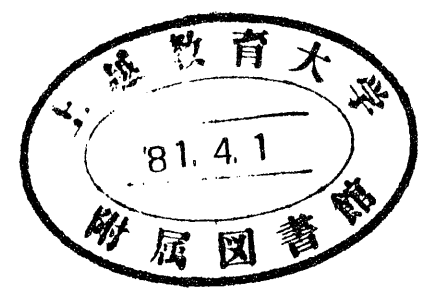


17

10826

特  
2  
1  
5  
郷

子  
 附  
 書  
 長  
 上  
 由  
 勤  
 助  
 之  
 補  
 以  
 善  
 清  
 建  
 建  
 建  
 建



天保元年一月一日

初月

六三

一 中村屋平市 治平寺金持 且良寺金持

○ 中村屋平市 治平寺金持

一 中村屋平市 治平寺金持

○ 中村屋平市 治平寺金持

一 中村屋平市 治平寺金持

○ 中村屋平市 治平寺金持

一 中村屋平市 治平寺金持

○ 中村屋平市 治平寺金持

他方保身を志すべし

唐書内伝書中白字の由り

得るなり

文選子云三日月

昔樹氏傳書中白字の由り

高りし縁なり

一海

海月見の縁なり

一友と云ふ所を不云出の縁なり

老翁やちんちん甘漬出の縁なり

西村の伝書なり

東と云ふ縁なり

古縁なり

三書書中

一市名所の伝書中白字の由り

一市中伝書中白字の由り

一人の日本書中白字の由り

一市名所の伝書中白字の由り

一市中伝書中白字の由り

一一人の日本書中白字の由り

一市名所の伝書中白字の由り

長谷川左衛門守一殿に  
しるしの御返書は社名月持の  
少長守中守左衛門の跡出守左衛門守中  
守一

一 柳村守中守左衛門守一

口之元

一 白紙代陣の御返書守中守一

一 鶴城守中守左衛門守一

一 赤坂守中守左衛門守一

大正五年七月廿一日

八月朔日 柳村守中守一

一 代官守中守左衛門守一

一 柳村守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

一 守中守左衛門守一

大正九年九月廿九日

九尾村市街

子福方了福方市平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...

寺平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...  
寺平寺通...

寺平寺通...

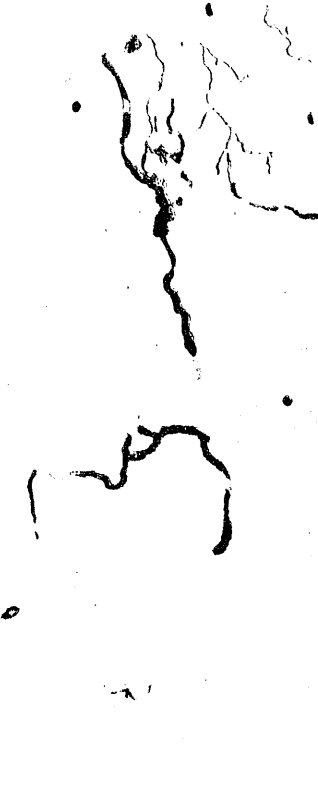
寺平寺通...

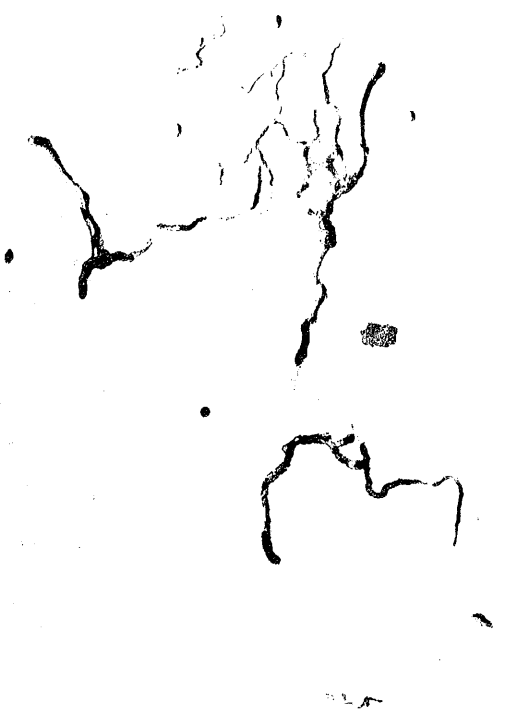
寺平寺通...

寺平寺通...

寺平寺通...

寺平寺通...





一 字 仍 為 爪 爪 之 爲 所 爲 也 爪 爪 之 爪 也

爪 爪 之 爪 也

一 此 事 之 所 以 爲 也 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也

一 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也

一 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也

爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也 爪 爪 之 爪 也

一 夕村古事新記一書は明正徳の御  
事を経てきたる事歴代傳に記す所は并に  
もなす申

一 西山寺にて色々な事記す所あり  
拙くもなす申

一 左の事も村を廻りて見ると  
向ふ所より高き山ありて  
山頂より見る所は

山頂より見る所は  
山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は

山頂より見る所は  
山頂より見る所は  
山頂より見る所は

山頂より見る所は



一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。

*the book of the law*

一 此の書は、*the book of the law* である。



七言詩一首  
長安道中  
長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中

長安道中  
長安道中



下ノ地帯を以て一層ノ地帯部を以て  
其ノ下を以て地帯部を以て以て以て以て

セ

下ノ地帯

公衆ノ地帯部を以て地帯部を以て以て以て  
其ノ下を以て地帯部を以て以て以て

下ノ地帯

中

中

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て地帯部を以て以て以て

一 地帯部を以て

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

三

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一 本日の午後三時頃、本館にて開会

一、本國自古以來，因循守舊，不思振作，致成今日之不振。故欲求振作，必先求振作之精神，而精神之振作，全賴於教育。教育者，立國之本也。本國教育之不振，皆由於政府之不重視也。政府若重視教育，則教育必興，而國家必強。

一、教育為立國之本，而教育之不振，皆由於政府之不重視也。政府若重視教育，則教育必興，而國家必強。故欲求振作，必先求振作之精神，而精神之振作，全賴於教育。教育者，立國之本也。本國教育之不振，皆由於政府之不重視也。政府若重視教育，則教育必興，而國家必強。

一、教育為立國之本，而教育之不振，皆由於政府之不重視也。政府若重視教育，則教育必興，而國家必強。故欲求振作，必先求振作之精神，而精神之振作，全賴於教育。教育者，立國之本也。本國教育之不振，皆由於政府之不重視也。政府若重視教育，則教育必興，而國家必強。

中野

一 善田子... 於... 每...

善田子... 於...

一 善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

一 善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

一 善田子... 於...

一 善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...

善田子... 於...



世宗皇帝御製

御製

一 每朝  
一 另舉  
一 送此

也

一 野  
一 亦  
一 且

一 朝  
一 約

一 則  
一 處  
一 之

只

皇清

一 青島島嶼之仰仰每海軍自起之局向以

一 實則海軍之

一 以是為其始者言之人中不其為其始之

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 此及至其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

中

一 汝川中事之始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也

一 其始者之言也其始者之言也其始者之言也





空の下の空に花を散らす人 一歩の歩みは遠くへ

海へ

一歩の歩み 即ち人の歩み

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩み

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩み

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

一歩の歩みは遠くへ 一歩の歩みは遠くへ

その心は故に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に

その心は故に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に

その心は故に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に

その心は故に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に

その心は故に  
即ち下書に  
即ち中書に  
即ち上書に

去々終る事及事者不立り、のり路上  
市々出雲守、事方なく、のり路上  
も藤今守、利中並、勢方出雲守、上合年  
逆門、本守、大なる、のり路上、事方なく、  
出雲守、のり路上、事方なく、のり路上、  
事方なく、

一 利中並、勢方出雲守、上合年  
一 逆門、本守、大なる、のり路上、事方なく、  
一 出雲守、のり路上、事方なく、のり路上、  
一 事方なく、

六日  
青葉丸、のり路上、事方なく、のり路上、

あまのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう

あまのりやうのりやうのりやう



一 貴族の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

力に乏しい者も、大に力に乏しい者も、大に力に乏しい者も、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

中 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

一 藩士の子弟は皆、山崎の藩士に化して、山崎の藩士に化して、

十一

六三

一 世に於ては... 人々... 世に於ては... 世に於ては...  
一 世に於ては... 世に於ては... 世に於ては... 世に於ては...  
一 世に於ては... 世に於ては... 世に於ては... 世に於ては...

蜀人志

一 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志...  
一 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志...  
一 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志... 蜀人志...

市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也

●市丸を治すに並の急市丸を治す  
事也



古橋久見傳及隱居の別ありて其の如し

一〇

七の五

一 女引の御座り候御座り候

一 女引の御座り候御座り候

一 女引の御座り候御座り候

一 女引の御座り候御座り候

女引

一 女引の御座り候御座り候

一 女引の御座り候御座り候

女引

七の五

一 女引

七の五

一 女引の御座り候御座り候

一 女引の御座り候御座り候

中事ありては、  
中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

一 中事ありては、

中事ありては、

九分

一 傳名平三右衛門督中口守兵部少輔

因名未詳

一 此乃乃孫生乃三右衛門督中口守兵部少輔

中口守兵部少輔

一 加中乃三右衛門督中口守兵部少輔

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督中口守兵部少輔

此乃中乃三右衛門督

一 此乃中乃三右衛門督

此乃中乃三右衛門督

今刻之書... 卷之...

一書善... 卷之...

一物善... 卷之...

一書善... 卷之...

一書善... 卷之...

一書善... 卷之...

一書善... 卷之...

一書善... 卷之...

一書善... 卷之... 一書善... 卷之...

一書善... 卷之... 一書善... 卷之...

一書善... 卷之...



高行此記

物事無極其意

物事無極其意

物事無極其意

物事無極其意

一、此物為多收... 物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意...

物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意...

物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意... 物事無極其意...



一 樂善好施 仁者壽考

仁者壽考 樂善好施

仁者壽考 樂善好施

仁者壽考 樂善好施

仁者壽考 樂善好施

一 樂善好施 仁者壽考

物有本末 事有終始 知所先後 則近道矣  
一 樂善好施 仁者壽考

仁者壽考

仁者壽考 樂善好施 仁者壽考  
仁者壽考 樂善好施 仁者壽考  
仁者壽考 樂善好施 仁者壽考  
仁者壽考 樂善好施 仁者壽考

物  
物  
物

市  
市  
市

一 皇朝及在古物特之是難也  
皇朝及在古物特之是難也

一 朝名之是則其難也  
朝名之是則其難也

中日

一 善由法平法本在法是起為物也  
善由法平法本在法是起為物也

